

3日目 9月18日

会 場： 松江市営野球場

第2試合	～2回戦～																	
T E A M	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	R	H	E
開 星	0	0	0	0	2	0	2	1	1							6	12	1
浜田商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0							0	2	2
(投手-捕手)																		
・ (開)	百合澤→山本 - 吉川																	
・ (浜)	湯田→横井→湯田 - 斎藤																	
(長 打)	(二塁打)						(三塁打)						(本塁打)					
・ (開)	井上												前井出					
・ (浜)																		
(審判) [球審]	引野			〔一塁〕安達			〔二塁〕石本			〔三塁〕林								
(チーム成績)																		
チーム	打	安	点	二	三	本	振	四	犠	盗	残	併	守備	失	暴	ボ	逸	打妨
(開)	43	12	5	1	0	1	3	4	2	4		2		1	0	0	0	0
(浜)	32	2	0	0	0	0	12	6	1	0		0		2	1	0	0	0

### 「開星、12安打に小技を絡めて変則投手を攻略！」

どちらに流れの傾くか全くわからない投手戦で試合は幕を開けた。浜田商業先発の湯田は左腕から放たれる80km/h台のカーブとチェンジアップ中心に打たせてとる変則投手であった。開星は毎回走者を出し、バントの構えからの揺さぶりや盗塁などの足技を絡めていくが、あと1本が出せずに0行進が続く。対する浜田商業も開星先発の百合澤を前に、四死球と失策の走者を得ただけで好機すら作れずにいた。

5回表、開星は先頭の9番吉川がセフティーバントを成功させて出塁すると、エンドランと凡退で2死2塁とし、3番前井出のライトフェンスを越える2点本塁打で待望の先制点を挙げる。しかし、浜田商業も負けじと直後の5回裏に反撃する。先頭が死球で出塁すると、6番上野がバスターを仕掛けチーム初安打でチャンスを広げると、すかさず犠打で1死2・3塁と一打同点の場面を作る。空振り三振と四球で2死満塁となり、1番斎藤が直球を捉え打球は強烈なライナーとなったが、惜しくも三塁手の正面を突き開星が踏ん張った。

6回からは開星が主導権を渡さずリードを広げていく展開となった。浜田商業は6回から2番手の横井に継投するが、7回表にチーム初の四死球を許すと盗塁と申告敬遠で2死1・2塁とし、4番井上が初球を捉えセンターへの適時打で追加点を挙げる。浜田商業は直後に暴投し、隙を突いた2塁走者の前井出が一気に本塁を突き、この回2点目を挙げた。開星は8回、9回とスクイズで得点を重ね、結局6対0で浜田商業を下した。開星の頼れる主将前井出が2打点3得点と苦しい状況のチームを救った。

